

「働き方改革」でフォーラム

デンタルタイアップ

デンタルタイアップ（本社・広島市、小原啓子社長）は21、22日の両日、広島国際会議場で「歯科医院変革フォーラム―歯科医院から発信する『働き方改革』―」写真Ⅱを開催し、約400人が参加した。

特別講演①は、広島弁爆笑落語のジャンボ衣笠氏に

よる「ぼやき酒屋」。桂三枝創作落語「ぼやき酒屋」をもとに、歯科医院で歯の治療を受ける中で起こる数々のハプニングを語った。

特別講演②は、子育てと妻の闘病を支えながら東レの社長を勤め上げた働き方改革の達人、佐々木常夫氏（佐々木常夫マネージメン



ト・リサーチ代表取締役）による「これからの社会に対

応する働き方改革」。自閉症の長男を含め3人の子供の子育てと、肝臓がん、うつ病を患った妻を抱え、多難な家庭生活のため、毎日定時に帰宅する必要に迫られる中、社長となり、さまざまな事業改革、働き方改革を行った経緯を基に、ワークライフバランスの神髄を示唆した。

特別講演③は、広島大学大学院医歯薬保健学研究院の栗原英見教授（歯周病態学）による「歯科から発信す

る100年時代の豊かな生き方」。日本歯周病学会が2017年12月の京都で宣言した「歯周病撲滅」の意義と、歯周病と全身疾患との関連、人生100年時代の健康的な生活について語った。

歯科医院変革報告では、宮城県石巻市の坂井おとな子ども歯科が「復興から働き方を考える」、鹿児島市のあつぎる歯科医院が「働き方改革はUSから始まった」、滋賀県野洲市の小林歯

科医院が「継承から新体制移転まで」、福岡県北九州市の渡辺歯科医院が「歴史ある歯科医院での働き方改革」、富山射水市のやまさき歯科医院が「余裕ある時間確保のための働き方改革」、石川県金沢市のハッピー歯科医院が「継続から生まれる組織の新たな体制づくり」と題し、それぞれ改革の事例を紹介。県立広島大学大学院の木谷宏教授（経営管理）が総括した。